
GXP1620 取り扱い説明書

Ver2.0.5 2016/07/27 更新
Ver2.0.4 2016/02/16 更新
Ver2.0.3 2016/02/04 更新
Ver2.0.2 2015/08/25 更新
Ver2.0.1 2015/06/24 更新
Ver1.0.0 2015/06/10 作成



はじめに

このたびはGXP1620をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前に必ず本書をお読みになり、お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
当サポートにて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社までお願いいたします。
※ 製造元へのお問い合わせはご遠慮ください

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・ GXP1620 本体
- ・ 受話器
- ・ ACアダプタ
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ スタンド
- ・ Quick Installation Guide

■免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ GXP1620は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■お手入れ

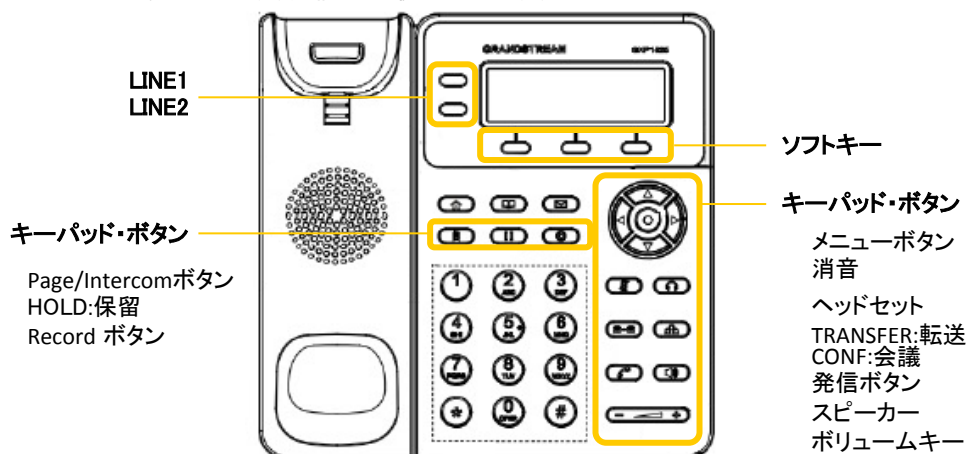
柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

■接続方法

1. 本体とスタンドを接続する
 2. イーサネットケーブルを本体後側の「LAN」とブロードバンドルーターに差し込む
 3. ACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
 4. カールコードを本体の「HANDSET」に差し込む
- ※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- ※ 必ずGXP1620本体後ろ側の「LAN」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。
本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、GXP1620を通してネットワークに接続する事が可能です。
- ※ PoE非対応

GXP1620とは

GXP1620とは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。発信として使用出来ます。



LCDディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

ソフトキー

次画面	待ち受け画面、天気とIPアドレスが表示されます。切り替えるには、このボタンを押してください。
全転送	無条件に、別の電話へ電話線を転送します。
再発信	直前にかけた相手にかかけ直す事ができます。相手が話中や留守の時のかけ直しに便利です。
不在着	このオプションは、この電話への非応答の通話を示します。表示された番号を選択し、受話器を取らずにリダイヤル/ハンドセットボタンを押すと発信することが出来ます。
受ける/拒否	着信を受けるか、受けとらないかを選ぶことが出来ます。
終了	コールを終了します。

キーパッド・ボタン

LINE1/LINE2	回線の切り替えボタンです。「LINE1」「LINE2」それぞれに回線を設定できます。
Page/Intercom ボタン	「設定」「コール機能」「インターコミュニーザーID」に電話番号を設定すると、ボタン押下して発信。通話成立後は自動的にスピーカー通話となりでインターフォンのようにして会話できる。
HOLD:保留	通話中、相手に待ってもらう時に使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。
Record ボタン	通話中に押すと録音が始まるが録音するには、Grand Streamのサーバー(UCM61xx)が必要。 ※ 当サービスでは未検証。
Menu メニューボタン	電話機にセットされた設定が確認できます。上/下/左/右に移動する4つのナビゲーションキーを押してください。通話中に押していただくと、音量の調節が出来ます。 電話が使用されていない場合に、キーパッド・コンフィギュレーション「MENU」モードを入力するためには、中心に円形のボタンを押してください。 あるいは、キーパッド・コンフィギュレーション中にある場合ENTERキーとしてそれを使用してください。
消音	通話中に自分の音声が届かなくなります。また、発信履歴・着信履歴を消去します。
ヘッドセット	ヘッドセットを使用する際に利用します。
TRANSFER:転送	電話機の機能として、転送をすることが出来ます。※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
CONF:会議	電話機の機能として、今の通話に第三者を参加させることが出来ます。 ※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
発信ボタン	ハンドセットモードを有効/無効、または再ダイヤル/発信として使用出来ます。
スピーカー	ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話が出来ます。
ボリュームキー	受話音量を7段階に調節します。

設定方法

① GXP1620本体のIPアドレスを確認する。

ディスプレイ表示されている[次画面]の下にある、ソフトボタンを押す。二回ほど押すとIPアドレスが表示されます。

② webブラウザから、設定ページを開く。

GXP1620と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

http://(IPアドレス)/ 例:192.168.1.2 の場合、<http://192.168.1.2/>

※ファームウェアバージョンによって画面構成が異なる場合がございます。



Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

③ 上記画面が表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、言語を「日本語」に選択して「ログイン」をクリックします。

※機器初期直後のユーザー名、パスワードは「admin」です。

セキュリティ確保のため、手順⑨にて必ず任意のパスワードに変更して下さい。

※ログインユーザー名はadminで固定。変更不可となります。

弊社にて設定出荷した機器のデフォルトパスワードは機器に同梱いたしております。



設定方法

- ④ 画面上部「アカウント」タブの「アカウント1」をクリックします。
「一般設定」タブをクリックします。

アカウント名: & SIPユーザID: & 認証ID: & 名前: ユニーク(10桁の数字)を入力します。
SIPサーバ: & アウトバウンドプロキシ: ログインサーバを入力します。※サーバーアドレスはお客様管理ページをご覧ください
認証パスワード: 端末パスワードを入力します。
もし、管理ページにてユニークの端末パスワードの変更を行った場合は、変更したパスワードを入力します。
留守番電話ユーザID: 「999」を入力します。

入力が完了しましたら、「保存」のタブをクリックします。
(2つ目のユニークを設定する場合は、「アカウント2」も「アカウント1」同様に設定してください)

- ⑤ 画面左部「アカウント」タブの「ネットワーク設定」をクリックします。

NATトラバース: Keep-Aliveを選択します。
入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑥「アカウント」タブの「SIP設定」-「基本設定」をクリックします。



基本設定	
TEL URI	<input checked="" type="radio"/> 無効化 <input type="radio"/> User=phone <input type="radio"/> 有効化
SIP登録	<input type="radio"/> NO <input checked="" type="radio"/> YES
再起動時に登録を取り消す	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
登録期限	<input type="text" value="60"/>
期限切れする前に再登録	<input type="text" value="0"/>
Enable OPTIONS Keep Alive	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
OPTIONS Keep Alive Interval	<input type="text" value="30"/>
OPTIONS Keep Alive Max Lost	<input type="text" value="3"/>
ローカルSIPポート	<input type="text" value="50000~60000"/>
SIP登録失敗再試行待ち時間	<input type="text" value="20"/>
SIP T1 タイムアウト	<input type="text" value="0.5 秒"/>
SIP T2 タイムアウト	<input type="text" value="4 秒"/>
SIP転送	<input checked="" type="radio"/> UDP <input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> TLS/TCP
TLS使用する際のSIP URI スキーム	<input type="radio"/> SIP <input checked="" type="radio"/> sips
TCP/TLSのContactに実際エフェメラルポートを使用	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
ルートからOBPを削除	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
SIP Instance IDサポート	<input type="radio"/> NO <input checked="" type="radio"/> YES
SUBSCRIBE for MWI	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
登録の SUBSCRIBE	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
100rel有効化	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
Caller ID表示	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> 無効化 <input type="radio"/> From ヘッダー
Privacyヘッダを使用	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
P-Preferred-Identityヘッダを使用	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES
Ignore Alert-Info header	<input checked="" type="radio"/> NO <input type="radio"/> YES

ローカルSIPポートに50000~60000のいずれかの数字を入力します。
※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当ててください。
例: 端末Aには50000、端末Bには50001

設定方法

⑦ 画面左部「アカウント」タブの「音声設定」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

Grandstream 状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.2.4

アカウント

- アカウント 1 -
- 一般設定
- ネットワーク設定
- SIP設定 +
- 音声設定**
- 通話設定
- アカウント 2 +

音声設定

DTMF発信 in-audio RTP (RFC2833)を介する SIP INFOを介する

DTMF ペイロードタイプ: 101

選択項 1: PCMU

選択項 2: PCMA

選択項 3: PCMU

選択項 4: PCMU

選択項 5: PCMU

2000K SDP で最初に一致するボ
コードを使用します NO YES

Disable Multiple m line in SDP NO YES

SRTP モード: NO

対称的RTP NO YES

無音抑止 NO YES

TXごとの音声フレーム: 2

G.726-32 Packingモード ITU IETF

ジッター・バッファタイプ: 適応

ジッター・バッファ長: 300ms

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

DTMF発信: RTPのみを選択します。

※ユニーク管理ページでDTMF送信方法をDTMF Inbandに設定された場合は「in-audio」を選択してください。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定方法

⑧ 画面左部「アカウント」タブの「SIP設定」の「セキュリティ設定」をクリックします。

The screenshot shows the Grandstream GXP1620 web interface. The top navigation bar includes 'Grandstream GXP1620', '管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset', and '日本語'. The main menu has '状態', 'アカウント', '設定', 'ネットワーク', 'メンテナンス', and '電話帳'. The left sidebar shows 'アカウント' selected, with sub-items for 'アカウント 1', '一般設定', 'ネットワーク設定', 'SIP 設定', '基本設定', '拡張機能', 'セッション タイマー', 'セキュリティ設定', '音声設定', '通話設定', and 'アカウント 2'. The main content area is titled 'セキュリティ設定' and contains the following options:

- ドメイン証明書確認 NO YES
- 受信メッセージ有効化 NO YES
- 受信INVITEのSIP ユーザ IDを確認 NO YES
- プロキシから受信する SIP のみを許可します NO YES
- 受信する INVITE を認証します NO YES

At the bottom of the settings area, there are three buttons: '保存', '保存して適用', and 'リセット'. The '保存して適用' button is highlighted with a red box.

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

受信INVITEのSIPユーザIDを確認: YESを選択します。
(英語表示の場合は、Check SIP User ID for Incoming INVITE)

入力が完了しましたら「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法

⑨ 画面上部「設定」タブの「コール機能」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト 再起動 Factory Reset 日本語

Grandstream 状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.0.38

設定

- 一般設定
- コール機能
- マルチキャスト ページング
- 着信音
- 音声制御
- LCD ディスプレイ
- 日付と時刻
- Web サービス
- XML アプリケーション
- プログラム可能なキー

コール機能

Offhook自動ダイヤル

オフフック タイムアウト

インターコムユーザID

通話中着信無効化 NO YES

通話中着信音無効化 NO YES

IPアドレスダイヤル無効化 NO YES

クイック IP-call モードを使用 NO YES

電話会議無効化 NO YES

in-call DTMF表示無効化 NO YES

Mute Key Functions While Idle DND Idle Mute Disabled

転送無効化 NO YES

転送キーを押す際に発信される In-callダイヤル番号

自動在席転送 NO YES

SIP URIの中の'#'を%23に置換しない NO YES

Click-To-Dial 機能 無効化 有効化

通話履歴をフラッシュメモリへの書き込み 0 は、このオプションが無効であることを意味します。

書き込みタイムアウト

最大未保存ログ

保存 **保存して適用** リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

通話中着信無効化: YESを選択します。
※キャッチフォン無しになります、キャッチフォンありの時はNOを選択。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定方法

- ⑩ 画面左部「設定」タブの「日付と時刻」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト 再起動 Factory Reset 日本語

Grandstream 状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.0.38

設定

日付と時刻

NTP サーバ: ntp.jst.mfeed.ad.jp

Allow DHCP Option 42 to override NTP server: NO YES

タイムゾーン: GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク)

ユーザ定義タイムゾーン: MTZ+6MDT+5,M4.1.0,M

時刻表示フォーマット: yyyy-mm-dd

時間表示フォーマット: 12時間表示 24時間表示

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

NTPサーバ:「 ntp.jst.mfeed.ad.jp 」を入力します。
タイムゾーン: GMT+09:00(日本、韓国、ヤクーツク)を選択します。
入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

- ⑩ 画面上部「メンテナンス」タブの「Web アクセス」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト 再起動 Factory Reset 日本語

Grandstream 状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.0.38

メンテナンス

Web アクセス

アップグレードとプロビジョニング

Syslog

言語

TR-069

セキュリティ

ユーザーパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

管理者パスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

保存

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

現在のパスワード:「現在のパスワード」を入力します。
新しいパスワード:「任意のパスワード」を入力します。
パスワードの確認:「新しいパスワード」を再度入力します。
※設定ページにログインする際のパスワードになります。機器を初期化した直後の初期パスワードは全機器共通になりますのでセキュリティ確保のためお客様にて推測されにくいパスワードを設定して下さい。

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑪ 画面上部「メンテナンス」タブの「アップグレードとプロビジョニング」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset | 日本語

Grandstream 状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.0.38

メンテナンス

Web アクセス

アップグレードとプロビジョニング

Syslog

言語

TR-069

セキュリティ

アップグレードとプロビジョニング

フレームウェア更新と
プロビジョニング

- 新しいフォームウェアを常に確認
- 接頭/接尾文字異なる場合のみ新しいフォームウェアを確認
- 常にフォームウェア確認をスキップする

XML設定ファイルパスワード

HTTP/HTTPSユーザ名

HTTP/HTTPS パスワード

Always Authenticate Before Challenge NO YES

Validate Hostname in Certificate NO YES

以下を介して更新 TFTP HTTP HTTPS

フォームウェアサーバパス fm.grandstream.com/gs

設定サーバパス fm.grandstream.com/gs

フォームウェアファイル接頭文字

フォームウェアファイル接尾文字

設定ファイル接頭文字

設定ファイル接尾文字

DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可 NO YES

DHCP オプション120によるSIPサーバ設定を許可 NO YES

3CX 自動プロビジョニング NO YES

自動アップグレード

- はい、毎 1008 分
- はい、毎日アップグレードを確認します。
- はい、毎週アップグレードを確認します。

チェックする時刻(0-23) 1

チェックする曜日(0-6) 5

Disable SIP NOTIFY Authentication NO YES

認証設定ファイル NO YES

デバイス設定ダウンロード デバイス設定ダウンロード

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

フレームウェア更新とプロビジョニング:「常にフォームウェア確認をスキップする」を選択します。
※「常にフォームウェア確認をスキップする」を選択するとフレームウェアが更新されません。
フレームウェアを更新したい場合、⑫フレームウェアバージョンアップ方法を参照下さい。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定方法

⑫ ファームウェアのバージョンアップ方法(任意)

MaintenanceタブからUpgrade and Provisioningをクリックします。

フレームウェア更新とプロビジョニング:「新しいファームウェアを常に確認」を選択します。

以下を介して更新:「HTTP」を選択します。

ファームウェアサーバパス:「firmware.grandstream.com」を入力します。

自動アップグレード:「はい、毎週アップグレードを確認します。」を選択します。

入力が終わりましたら最下部の「保存して適用」をクリックして再起動して下さい。



※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。











アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。








初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
 注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 警告	
	煙が出たり、変なおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

ファームウェアが初期化されます。アップデート方法は必ず、弊社サポートまでお問い合わせください。

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体で[●]ボタンを押して、青色のボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し、「設定」内にある「工場出荷設定に戻す」で決定します。
2. 「保存」を選択すると「全ての設定が初期化されます」と表示されるので再度「保存」を選択します。
3. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。